

2025-3-1
No.1110 500円

思想運動

女性たちからの通信特集(続)	2~3面
反基地運動の最前線—宮古島、佐賀、馬毛島	4~5面
トランプのガザ発言 PFLPの見解	6面
日朝全国ネット都内で結成総会開く	7面
連載 第三世界のなかのレーニン思想①	8~9面
下請け被ばく労働問題で都労委命令	10面
連載 ディアス・カネルインタビュー④	11面



絶えない戦争と野蛮の時代のなかで 民主労総の闘いぶりについて考える

戦争の根を断て

（全女農）など韓国大衆運動を代表する組織によって、透徹した歴史認識にもとづいて戦が、トランプの再登場によって動き始めている。停戦にわれわれは注目する。その一端を三つ紹介しよう。

その1。昨年12月21日、全農・全女農が組織した「全準準闘争団」が韓国南部の慶南・全南地方からソウルの大統領官邸がある漢南洞にむけて「尹錫悦拘束！」などの横断幕をくりつけたトラックの選択肢（A.F.D）の躍進にみられるように、移民排斥の排外主義が吹き荒れつつある。欧州27か国中、極右政党が政権を握る国（連立をふくむ）が過半の15か国にまでおよんでいる。第2次大戦の前夜、ファシズムはイタリヤ・ドイツばかりでなく欧州全域を席巻していたが、これと酷似する状況がいまわれわれの眼前には広がっている。

《市民のみなさん！ 2024年の牛金時》
南泰嶺に集まってきたぞ！
（19時20分発信）だ。

《市民のみなさん！ 2024年の牛金時》
4年の今日、まさにこの南泰嶺が牛金時です。甲午年、東の側に有利に使い、態勢を立て直すか？ それは、ロシアやウクライナをはじめとする欧州だけでなく、アジアで活動するわれわれにとっても喫緊の課題だ。その課題に「社会大改革」のスローガンを掲げて挑戦する隣国・韓国のナショナルセンター全国民民主労働組合総連盟（以下、民主労総）の取り組みを紹介するなかで考えてみたい。

対峙した。この夜、南泰嶺は零下10度近くまで気温が下がり、時折、粉雪が舞うなかで連帯闘争であった。そして、対峙すること28時間、22日の午後4時半ごろ、ついに警察は道路をさぐっていた警察ハスを移動し、道路を開放した。こうして、「全準準闘争団」の農民たちと労働者・市民たちは、ソウル市内に入り、沿道で手を振って迎える人ひとの歓呼のなかを大統領官邸最寄りの漢江鎮駅に向かった。これは2016年の朴槿惠退陣闘争時でもできなかったことを成し遂げた快挙であり、人ひとを「南泰嶺大捷」（南泰嶺の大勝利）と名づけ、農民と労働者・市民の連帯闘争が切りひらいた勝利として高く評価し、語り継いでいる。

漢南洞の3泊4日
その2。また、この「南泰嶺大捷」から10日あまりたった今年1月3日早朝、高位公職者犯罪捜査処（公捜処）と警察で構成する合同捜査本部が、大統領尹錫悦の拘束のために大統領官邸に入るとして、尹錫悦側は大統領警護処と首都防衛司令部の軍を動員してこれを阻み、5時間後、合同捜査本部は尹錫悦拘束に失敗して大統領官邸からそこそこと引き上げた。市民たちの間に失望がひろがったが、それを希望に変えたのが、力なく撤収した合同捜査本部に代わって力強く漢南洞に進軍してきた民主労総の一団だった。

この日午後、民主労総は大統領官邸前の道路に進入し、当

罪するために「そこをどけ！」と闘いました。わたしたちの闘つべき対象が、尹錫悦という内乱首魁個人ではないことを確認しました。尹錫悦と内乱の首魁部、本利の信念をもって力強く前進しましょう！ 闘争！

道をはらく民主労総

その3。昨年12月7日、一回目の尹錫悦弾劾訴追案が与党「国民の力」議員の議場欠席で否決（可決は、一週間後の14日）された日、事態の成り行きを見届けようと汝矣島の国会議事堂前に集まってくる人民大衆に対して、警察は規制線をはり、国会前に行かせないようとした。そのため、道路上には人波がおし寄せ密集して危険な状態になったことがあった。この時、民主労総の梁慶洙委員長が傘下の公共運輸労働組合員に警察の規制を解くよう指揮し、攻防の末、労働組合員の実力で警察の規制線を決壊させ道を切りひらいたのである。

この時の映像が瞬之間にSNS上で拡散され、「道を切りひらく民主労総」「市民の先頭で闘ってくれる民主労総」が人民大衆の共感を呼んだ。それまで長らく「朝鮮日報」のよきな極右大手マスコミによって「労組利己主義」キャンペーンが張られ、労働組合は自分たちのことしか考えない、ストで物流を止め、デモで交通を滞らせる迷惑な集団と宣伝され、労働組合と人民のあいだに意図的な分断の楔が打ち込まれてきた。しかし、そうした認識が誤り、

偉大な闘争は終わります。しかし、土曜日にも二度光輝いてくれる存在、そこにいれば安心できる深い懐のよき存在という像がひろく人民大衆のなかに芽生えてきたのだ。こうしたなかで、街頭デモの先頭にあつた民主労総の組合旗をじゅんも持ちたいと

大捷！から10日あまりたった今年1月3日早朝、高位公職者犯罪捜査処（公捜処）と警察で構成する合同捜査本部が、大統領尹錫悦の拘束のために大統領官邸に入るとして、尹錫悦側は大統領警護処と首都防衛司令部の軍を動員してこれを阻み、5時間後、合同捜査本部は尹錫悦拘束に失敗して大統領官邸からそこそこと引き上げた。市民たちの間に失望がひろがったが、それを希望に変えたのが、力なく撤収した合同捜査本部に代わって力強く漢南洞に進軍してきた民主労総の一団だった。

この日午後、民主労総は大統領官邸前の道路に進入し、当

罪するために「そこをどけ！」と闘いました。わたしたちの闘つべき対象が、尹錫悦という内乱首魁個人ではないことを確認しました。尹錫悦と内乱の首魁部、本利の信念をもって力強く前進しましょう！ 闘争！

道をはらく民主労総

その3。昨年12月7日、一回目の尹錫悦弾劾訴追案が与党「国民の力」議員の議場欠席で否決（可決は、一週間後の14日）された日、事態の成り行きを見届けようと汝矣島の国会議事堂前に集まってくる人民大衆に対して、警察は規制線をはり、国会前に行かせないようとした。そのため、道路上には人波がおし寄せ密集して危険な状態になったことがあった。この時、民主労総の梁慶洙委員長が傘下の公共運輸労働組合員に警察の規制を解くよう指揮し、攻防の末、労働組合員の実力で警察の規制線を決壊させ道を切りひらいたのである。

この時の映像が瞬之間にSNS上で拡散され、「道を切りひらく民主労総」「市民の先頭で闘ってくれる民主労総」が人民大衆の共感を呼んだ。それまで長らく「朝鮮日報」のよきな極右大手マスコミによって「労組利己主義」キャンペーンが張られ、労働組合は自分たちのことしか考えない、ストで物流を止め、デモで交通を滞らせる迷惑な集団と宣伝され、労働組合と人民のあいだに意図的な分断の楔が打ち込まれてきた。しかし、そうした認識が誤り、

偉大な闘争は終わります。しかし、土曜日にも二度光輝いてくれる存在、そこにいれば安心できる深い懐のよき存在という像がひろく人民大衆のなかに芽生えてきたのだ。こうしたなかで、街頭デモの先頭にあつた民主労総の組合旗をじゅんも持ちたいと

大捷！から10日あまりたった今年1月3日早朝、高位公職者犯罪捜査処（公捜処）と警察で構成する合同捜査本部が、大統領尹錫悦の拘束のために大統領官邸に入るとして、尹錫悦側は大統領警護処と首都防衛司令部の軍を動員してこれを阻み、5時間後、合同捜査本部は尹錫悦拘束に失敗して大統領官邸からそこそこと引き上げた。市民たちの間に失望がひろがったが、それを希望に変えたのが、力なく撤収した合同捜査本部に代わって力強く漢南洞に進軍してきた民主労総の一団だった。

この日午後、民主労総は大統領官邸前の道路に進入し、当

罪するために「そこをどけ！」と闘いました。わたしたちの闘つべき対象が、尹錫悦という内乱首魁個人ではないことを確認しました。尹錫悦と内乱の首魁部、本利の信念をもって力強く前進しましょう！ 闘争！

道をはらく民主労総

その3。昨年12月7日、一回目の尹錫悦弾劾訴追案が与党「国民の力」議員の議場欠席で否決（可決は、一週間後の14日）された日、事態の成り行きを見届けようと汝矣島の国会議事堂前に集まってくる人民大衆に対して、警察は規制線をはり、国会前に行かせないようとした。そのため、道路上には人波がおし寄せ密集して危険な状態になったことがあった。この時、民主労総の梁慶洙委員長が傘下の公共運輸労働組合員に警察の規制を解くよう指揮し、攻防の末、労働組合員の実力で警察の規制線を決壊させ道を切りひらいたのである。

この時の映像が瞬之間にSNS上で拡散され、「道を切りひらく民主労総」「市民の先頭で闘ってくれる民主労総」が人民大衆の共感を呼んだ。それまで長らく「朝鮮日報」のよきな極右大手マスコミによって「労組利己主義」キャンペーンが張られ、労働組合は自分たちのことしか考えない、ストで物流を止め、デモで交通を滞らせる迷惑な集団と宣伝され、労働組合と人民のあいだに意図的な分断の楔が打ち込まれてきた。しかし、そうした認識が誤り、

偉大な闘争は終わります。しかし、土曜日にも二度光輝いてくれる存在、そこにいれば安心できる深い懐のよき存在という像がひろく人民大衆のなかに芽生えてきたのだ。こうしたなかで、街頭デモの先頭にあつた民主労総の組合旗をじゅんも持ちたいと

大捷！から10日あまりたった今年1月3日早朝、高位公職者犯罪捜査処（公捜処）と警察で構成する合同捜査本部が、大統領尹錫悦の拘束のために大統領官邸に入るとして、尹錫悦側は大統領警護処と首都防衛司令部の軍を動員してこれを阻み、5時間後、合同捜査本部は尹錫悦拘束に失敗して大統領官邸からそこそこと引き上げた。市民たちの間に失望がひろがったが、それを希望に変えたのが、力なく撤収した合同捜査本部に代わって力強く漢南洞に進軍してきた民主労総の一団だった。

この日午後、民主労総は大統領官邸前の道路に進入し、当

わたしたちの3泊4日は偉大でした！
吹雪も雨風もわたしたちを揺るがすことはできませんでした！
こうしてわたしたちは同志となり砕かれぬ連帯をつくっています！

大雪が降るなか民主労総が市民とともに繰り広げたソウル漢南洞の大統領官邸前3泊4日闘争締め括りの梁慶洙・民主労総委員長の挨拶から（民主労総機関紙「労働と世界」ウェブサイトより）

国際婦人デー3・8東京集会
3月8日(土) 13時半〜 東京・文京区民センター